

令和8年度 大林学区地域運営委員会 事業計画書

1 今年度の目標

- ・多世代を対象とした様々な事業・行事を継続的に実施することにより、大林地区に居住する住民の交流、連携を図る。
- ・安芸の国の盆踊り発祥の地である大林において、その由来を伝承するとともに、盆踊り等の伝統文化を保存・継続することにより、地域への愛着と誇りを取り戻す。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	大林夏祭りの夕べ(中世ロマン熊谷踊り)(継続案件)	(6)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年6月1日 ～ 令和8年8月12日	
(2) 実施場所	大林小学校グラウンド	
(3) 参加者数	2,500人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 大林地区文化事業実行委員会	
4 取組内容	4年目の取組となるが、毎年、大林LMOが全面協力し、踊り手や運営関係者に旅費を支給することで、今後も更なる充実を図る。 大林小学校では「熊谷踊り」をカリキュラムに取り込んでいることから、小学生など若い層の参加を促すことで、若年層から高齢者まで幅広い層の交流と郷土愛の醸成が期待できる。また、大林小学校の児童も取り込んだ地域性の高い内容に発展させていくことで「熊谷踊り」の伝統文化を継承し、つなげていく。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 「熊谷踊り」は、熊谷氏ゆかりの大林地区に西暦1500年中期を起源とし、約430年余にわたり踊り継がれてきた地域固有の伝統行事であるが、踊り継ぐ後継者がおらず約90年前に完全に廃れてしまった。 平成25年に「熊谷踊り」を復活させた。それ以降、「大林盆踊りの夕べ」を開催した際には、毎年熊谷踊りの内容を充実させながら盆踊りで披露し、市民に広く周知するとともに参加住民の交流を図り、毎年開催する事で、伝統文化を保存、継続し、「結い」の精神を醸成していく。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 大林に新たに転入してきた住民も増加していることから、大林で生まれ育った住民とも一体となり、地域を盛り上げるイベントとすることで、大林地区に居住する住民の交流、連携を図ることができる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	大林 木と食の里祭り(継続案件)	(6)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年11月21日	
(2) 実施場所	トーホー株式会社広島工場	
(3) 参加者数	3,500人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 大林学区地域運営委員会(関連団体:大林間伐材再生研究会、トーホー(株))	
4 取組内容	「木と食の里祭り」の趣旨に賛同する団体、企業が、トーホー(株)広島工場(旧ガラスの里)において、「ふれあい」「ワークショップ」「飲食」「交流」のスペースへ出店し、大林地区だけでなく周辺地域の住民に「木と食の里」である大林地区の魅力を発信する。 木と食に関わる色々な出しものを楽しむことで、地域への賑わいを図り、まちづくりに寄与するものとする。	
5 目的・効果	(1) 目的 大林地区住民、企業だけではなく、可部地域等の住民、企業も集い、林業、農業、ものづくりの魅力を感じていただくことで、大林地区の見所を再認識し、地域住民の自信を促すものとする。また、可部地域から他の学区からの出展を図ることにより、地域交流によるまちづくりの活性化を醸成する。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 地域住民だけでなく、可部地区の団体、近隣企業との更なる連携の輪が広がり、加えて子育て世代の参加者が増えることにより、地域に興味や愛着を持つ若い世代が増え、若返りに伴う地域の活性化や、若い世代と企業との連携が盛んとなり、相乗効果により更なる地域の発展が期待できる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	大林の森林資源を活かした里山整備(継続案件)	(6)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(7) 地域の生活環境の整備又は美化に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年 <u>4</u> 月 <u>1</u> 日 ～ 令和 <u>9</u> 年 <u>1</u> 月 <u>31</u> 日	
(2) 実施場所	中ノ谷山の神周辺	
(3) 参加者数	<u>30</u> 人	
(4) 主催団体	団体名 <u>大林学区地域運営委員会（関連団体：大林愛林会）</u>	
4 取組内容	里山再生に向けた取り組みの一環として、令和6年度は大林愛林会の松くい虫による荒廃地整備し、令和7年度は広葉樹を中心に20本程度を植栽し、有害獣対策として防護ネットを設置した。また、山の神周辺の人工林15aについて、林間地にシキミ50本を植栽したため、今年度は引き続き植栽の生育状況を見守る。	
5 目的・効果	(1) 目的 獣害等による育成不良、周辺の道路滑落や河川浸食など諸問題があるが、林業や農業を生業の一つとしてきた大林地区において、地域住民等が森林に親しむことで、地元への愛着を醸成する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 今年度は植栽の生育状況を見守り、地域住民の森林とのかかわりを深めるきっかけとする。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	防災意識の向上を図る事業(継続案件)	(6)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年8月1日 ~ 令和8年11月30日	
(2) 実施場所	未定	
(3) 参加者数	100人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 大林学区自主防災会連合会	
4 取組内容	更なる防災意識の向上に取り組むこととし、自治会や防災士会とも連携し、防災をテーマとした意識向上策(講演会等のイベント 11月予定)を開催する。	
5 目的・効果	(1) 目的 大林地区に大きな被害をもたらした広島土砂災害(2014年)より、干支が一回りする今年度において、被災直後は地域住民の間で防災に対する意識が高まったものの、現在では徐々に防災意識の低下が見られる状況であることから、地域住民への防災対策や防災避難訓練の必要性を訴求していく。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 講演会等のイベントへの参加により、地域住民の防災意識を高めるとともに、防災を通して地域住民間の助け合いの機運を醸成する。	

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	多世代向けコミュニケーションスペース「ルリエん」の設置運営(継続案件)	(6)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ~ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	トーホー(株)広島工場内のルリエん 2 階西半分	
(3) 参加者数	1, 5 0 0 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 大林学区地域運営委員会、トーホー(株)	
4 取組内容	令和5年度で実施した全世帯のアンケート結果を受け、若者世代の関心の高かった多世代交流施設をトーホー(株)と共同で運営する。 ・コミュニケーションスペース運営⇒保健師等の相談会、講座・イベントワークショップ、野外イベント、利用者の自由時間⇒毎月第1・3火曜日及び第2・4金曜日に開催 ・「すずらんおでかけひろば IN ルリエん」⇒毎月第1・3火曜日 ・運営内容・運営・設備等のアドバイス・行事協力者⇒安佐北区社会福祉協議会、安佐北区厚生部地域ささえあい課、安佐北区地域起こし推進課、三入・可部地域包括支援センター、広島文教大学、すずらんひろば高陽 ・大林大学院多世代生涯学習の場「大林大学院」⇒安佐医師会病院長、大学教授、区長等の講演会 ・大林地区住民を対象とした意見、アイデア集約⇒広く意見、提案を得る方法の実施 ・子ども会育成会・PTA等子育て世代への連携した取組	
5 目的・効果	(1) 目的 子育て世代等の若い世代の孤立を防ぐため、子ども会育成会、PTA等の活動への支援と交流を深めることで、若い世代が地域活動に参加するきっかけを作る。 大林・三入地区の子育て世代、高齢者が集い、多世代の交流の場を提供し、地域住民間のネットワークを構築する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 現在、転入の世帯も増加してきたことから、子育て世代の増加により、若い世代との交流を増進し、地域運営の活性化の足掛かりとする。	

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	大林小学校鮎放流(継続案件)	(6)事業中(6)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 5 月 2 0 日	
(2) 実施場所	大林小学校裏手根の谷川	
(3) 参加者数	8 0 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 大林学区地域運営委員会	
4 取組内容	LMO大林と大林小学校PTAが協力し、小学生に鮎の放流及びつかみ取りを経験してもらい、川魚の生態を学び、河川的环境保護の重要性を認識してもらう。	
5 目的・効果	(1) 目的 小学生に河川的环境保護の重要性を認識させる。 大林小学校PTA・保護者がとLMO大林が協力することにより、自然豊かな地域での思い出作りは、子ども達の郷土愛の醸成に繋がる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・小学生を中心として、地域と小学校の連携強化が図られる。 ・小学生に河川的环境保護の重要性について、浸透が図られる。	

3 自主財源で実施した事業

なし